



ご当地 **よ坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.551

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

February
2015
平成27年

2



Contents

デンタルアイ	1
鈴木潤一	
会務	3
理事会報告	14
会務日誌	15
学校歯科委員会だより	19
センターだより	23
新年会報告	25
同好会だより	37
比企省吾	
リレー通信	39
石崎達司	
レディースコーナー	41
三浦雅美	
会員の異動	43
国保組合 NEWS	44
事務連絡	45
歯科コラム	46
赤えんぴつ	47

表紙写真について

去年の牛久市歯科医師会の旅行は神戸。表紙写真は宿泊先の最上階ラウンジより撮影した神戸市中心街の夜景です。

(社)茨城県南歯科医師会 富田 浩之

「規制改革検討会議」について



副会長
鈴木 潤 一

安倍政権となり、政府の方向性を示唆する一つに「総合規制改革会議」なる諮問会議を設置しました。幾つかの分野でその名の通り規制改革を基本理念としておりますが、そこで答申された事項が政策に積極的に取り込まれているようです。主に重点6分野について、あるべき姿を念頭に、取り組みを意識的に強化し、「生活者向けサービス分野」に有効な手法により、規制改革を効果的にすると記載されております。

医療についても、重点分野として検討されております。健康・医療ワーキンググループは10人程の有識者（医科大、病院関係者数名）と事務局とで構成され、医師会、歯科医師会、薬剤師会は参加しておりません。次のような意見も出ております。「IT化の中、支払基金・国保連を統合しては？」「保険診療は制限診療であり、審査はルールを守っているかどうかを判断すれば良いだけで、医者は必要ないのでは？」「審査支払は保険診療ルールに従って行うべきであり、医師の過度の裁量権を認めるべきでない。」「審査の平準化の観点から、随時請求、毎週締め、退院毎に請求することも検討すべき。」

医療について問題意識として、サービスの提供に非効率不合理が生じており「真に国民の求

める医療制度」のために、効率化、安心透明・公平な制度の構築、経済の両立を検討とあり、一方的に診療側の改革を検討し受診体制の検討項目は見当たりません。具体的施策としてレセプト・カルテの電子化、第三者機関による医療評価。診療報酬体系の見直しとして、定額払い制度の拡大、医療機関の経営情報の開示。保険者機能の強化として、レセプト審査・支払い事務を支払基金や国保連合会を通さず保険者が直接行えるようにする。保険者が当該機関以外の民間へ委託できるようにする。社会保険の保険者直接審査については、各保険者がそれぞれハード面ソフト面で審査機構の充実を図れるかどうか甚だ疑問であり、特に中小企業が加入している協会健保等は事務の繁雑の中でチェックは困難として強い難色を示しており、他の中小組合も懸念している状態です。診療側でも支払基金に提出したレセプトが各保険者に送られて審査し、返戻されたものが、数ヶ月以上後に戻ることになる恐れがあります。

国民健康保険については、全国市町村長会の猛反対にも係わらず都道府県単位の統括化が決定し、平成30年度を目標に施行すべく、現在具体的な作業が進行中である。厚労省は「分賦金方式」を採用するよう提案しているが、多くの

市町村で「保険料を引き上げなければならないのでは？」と懸念している。茨城県内で民間国保組合は「医師国保」と「歯科医師国保」の2つのみで、今後の影響が懸念される。

また、厚労省は保険外併用療養制度の拡大として、「患者申出療養」創設の枠組みを示し医療保険部会です承された。これは先進医療の対象外でも一定の安全・有効性を確認した最先端医薬品・医療技術を保険外併用療養による受診を可能とする。患者に身近な医療機関で受診出来るようになるのだが、国が全面的に補償を担保出来るのだろうか。さらに将来確実に保険導入

出来るのだろうか。今後の検討課題だろう。

診療側と地方行政機関の負担だけが増すように思えるのだが。

私が骨折で整形外科に通院していた時の待合室での出来事です。足早にお年寄りが来院しました。何事かと居合わせた人全員が注目しますと、受付で「俺、今ここで転んじゃって、足を急いで診てくれるかな。」受付嬢「どちらの足ですか。」彼は「う・・・ん、両方」そして擦りながら足踏みをはじめました。受付嬢「……………」

規制改革の対象を広げる必要があるのでは？



We try best!
For healthy and white teeth

本 社	〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7	TEL 03-3832-8241
水戸支店	〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18	TEL 029-225-6543
宇都宮支店	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6	TEL 028-613-5858
松戸支店	〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366	TEL 047-345-3131
野木支店	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15	TEL 0280-56-0567

iwase 株式会社 岩瀬歯科商会 千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所

会務

新年会開催

1月15日（木）午後4時から、テラスザガーデン水戸において、恒例の茨歯会新年会が橋本昌知事をはじめ国会議員、関係団体などから約80名の方々のご出席を得て盛大に開催された。



国歌斉唱のあと、挨拶に立った森永会長は「口の中の菌周病菌がそのまま体に入っていけば、当然いろいろな障害が起こる。口の病気というのは、全部の病気に関わるということを訴えていきたい。今、茨城県内の、32の市町村まで首長さんに直接お会いして働き掛けているところでございます。今年度中には、44市町村を訪問したいと思っておりますけど、これがなかなか難しい。しっかりと地区の歯科医師の先生方が協力して理解を持った上での首長さんとお会いするというのが、これからの地域の包括医療の絶対条件だと考えております。これが達成した暁には、茨城県の歯科健康フォーラム、県民大会を是非やってみたいというのが私の目標でございます。」と述べた。

祝辞では、橋本昌知事が、「歯科については、



近年注目の度合が益々高くなってきていると感じております。例えば、終末期になり、点滴で栄養を補給しても、実際に自分の歯で摂るのとは全く違うかたちになってくる。さまざまな事が指摘されているところでありますし、特に生活習慣病、これを少しでも良い方向に持っていか、我々も国に習って歯科口腔保健というものを、「健康いばらき21」でも取り上げていますし、茨城保健医療計画の中でも歯科というものを、もっともっと重要視しなくてはいけないと思っているところでございます。」と、続いて、岡田広参議院議員、石井みどり参議院議員、西村まさみ参議院議員、大畠章宏衆議院議員、石川昭政衆議院議員、藤田幸久参議院議員、上月良祐参議院議員、福島伸享衆議院議員が祝辞を述べ、諸岡信裕県医師会副会長の乾杯の発声により祝宴となった。



アトラクションでは竜ヶ崎ジャズクラブの演奏があり、晴れやかな新春の祝いをより一層盛り上げた。



理事会報告



第10回理事会

日時 平成27年1月15日(木) 午後2時

場所 テラスガーデン水戸

1. 報告

- (1) 一般会務報告
- (2) 第23回茨城県歯科医学会について
- (3) 疾病共済金の支払について
- (4) 1月開業予定の歯科医院について
- (5) JMAT茨城研修会準備委員会報告について
- (6) 各委員会報告について
社保委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 入会申し込みについて
古橋菜穂子氏(県西地区)、菊池正浩氏
(東西茨城地区)の入会を受理した。
- (2) 後援依頼について

第52回関東甲信越肢体不自由児者父母の会
連合会茨城大会

標記後援依頼について、承認した。

- (3) 防災危機管理運営委員会規程について

標記規程について、承認した。

- (4) 防災・危機対策事業計画案及び予算案について

標記事業計画案、予算案について承認した。

- (5) 会館管理費(内規)について

標記について、承認した。

- (6) 医療事故担当弁護士の委嘱について

標記について、飯島弁護士に委嘱することとした。

- (7) 第2回地区会長協議会について

標記協議会について、協議した。

- (8) 茨歯会新年会について

標記新年会について、来賓、進行について確認した。

電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の3名の専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
医療アドバイザー	古川 章氏	保険請求や各種届出などに関すること
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



茨城県歯科医師会事務局

電話 029-253-2561
FAX 029-253-1075

会務日誌

- 1月15日 第10回理事会を開催し、入会申し込み、第52回関東甲信越肢体不自由児者父母の会連合会茨城大会後援依頼、防災危機管理運営委員会規程、防災・危機対策事業計画案及び予算案、会館管理費（内規）、医療事故担当弁護士の委嘱、第2回地区会長協議会、茨歯会新年会について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか18名
- 1月15日 平成27年新年会をホテルテラスザガーデン水戸にて開催。橋本県知事を始め、衆・参議院議員を招いての開催となり、来賓、会員など合わせて81名が新年を祝った。
- 1月16日 稲敷市と稲敷歯科医師会ならびに茨城県南歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護に関する協定を締結し、その調印式が稲敷市役所にて行われた。
- 出席者 森永会長
- 1月19日 8020・6424運動推進部会が県立健康プラザにて開催され、県民歯科保健基礎調査について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか2名
- 1月20日 いばらき食育推進大会が県民文化センターにて開催され、表彰の後、特別講演、展示・販売、パネルディスカッションが行われた。
- 出席者 藤田
- 1月21日 保険医療機関を対象とした個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 6
- 1月21日 都道府県地域保健・産業保健・介護保険理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、地域保健対策の進め方ほかについて協議を行った。
- 出席者 渡辺常務ほか1名
- 1月22日 第9回地域保健委員会を開催し、平成26年度噛むかむレシピコンテスト選出について協議を行った。
- 出席者 渡辺地域保健部長ほか4名
- 1月22日 「噛むかむレシピコンテスト審査会」を開催。噛む大切さを啓発するため、おいしくて噛む回数が増えるレシピを公募し、小学生以下の部80件、一般の部345件の応募レシピに対し審査を行った。
- 出席者 中川学園調理技術専門学校料理教室代表ほか5名 森永会長ほか7名
- 1月22日 専門学校において第1回一般入学試験を実施。歯科衛生士科に対し1名、歯科技工士科に対し3名の受験者があり、同日行われた合否判定により歯科衛生士科1名、歯科技工士科2名を合格とした。
- 1月22日 第10回広報委員会を開催。会報1月号の校正、会報2月号の編集、茨城新聞歯科コラム、歯科医学会取材について協議を行った。

- 出席者 菱沼広報部長ほか6名
- 1月24日 第2回介護保険委員会を日立市内にて開催し、次年度事業計画と予算、介護保険講習会および歯科医学会の役割分担、今年度活動報告について協議を行った。
- 出席者 仲田介護保険部長ほか9名
- 1月25日 介護保険講習会を日立歯科医師会との共催により、ホテル天地閣にて開催。「要介護高齢者への食事支援～摂食機能の着眼点と対応～」をテーマに日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授 植田 耕一郎先生が講演された。
- 受講者 104名
- 1月25日 全国共通がん医科歯科連携講習会を水戸市歯科医師会との共催で茨歯会館にて開催。がん医療に携わる歯科医師の人材育成と全国のレベル統一を図るDVDによる講習会を行った。
- 受講者 38名
- 1月26日 茨城県地域・職域連携推進協議会が県立健康プラザにて開催され、特定健康診査・特定保健指導の取り組みほかについて協議を行った。
- 出席者 森永会長
- 1月27日 内外情勢調査会1月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
- 出席者 森永会長
- 1月27日 県エイズ治療拠点病院等連絡会議が筑波大学附属病院にて開催され、今後の拠点病院等連絡会議及び研修会の運営方針ほかについて協議を行った。
- 出席者 菱沼理事
- 1月28日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 3
- 1月28日 県後期高齢者医療広域連合運営懇談会が水戸市内にて開催され、保険料軽減特例及び高齢者の自己負担の見直しほかについて協議を行った。
- 出席者 鈴木副会長
- 1月28日 県医師会警察医部会法医学研修講演会が県医師会にて開催。獨協医科大学法医学講座助教黒須明先生が「死体検案現場での問題点」について講演された。
- 出席者 森永会長ほか7名
- 1月28日 県栄養士会の新春懇談会が水戸京成ホテルにて開催された。
- 出席者 森永会長
- 1月29日 県学校保健・学校安全研究大会が県民文化センターにて開催される。よい歯の学校などの学校保健・学校安全関係表彰の後、実践発表、その後に「学校における子どもの心のケアの考え方とその対応」と題して講演が行われた。なお、席上、東 昌明氏（古河市）ほか15名が県学校保健会長表彰を受けられた。
- 出席者 森永会長
- 1月29日 日本歯科医師会会長予備選挙立候補者の所信演説会が日歯会館にて行われ、太田謙司氏、高木幹正氏による立会演説が行われた。
- 出席者 森永会長ほか1名

- 2月 1日 特定健診・特定保健指導への歯科関連プログラム導入に向けた意見交換会が日歯会館にて開催され、特定健診・特定保健指導に関する説明などの後、各グループより発表、質疑応答などが行われた。
出席者 渡辺常務
- 2月 2日 茨城県地方薬事審議会が市町村会館にて開催され、茨城県医薬分業対策協議会の薬事審議会への統合について審議が行われた。
出席者 森永会長
- 2月 4日 健康いばらき推進協議会が県立健康プラザにて開催され、第2次健康いばらき21プランの進捗状況等について協議を行った。
出席者 渡辺常務
- 2月 4日 茨城・県西歯科医師会との共催により全国共通がん医科歯科連携講習会を下妻市にて2日間にわたり開催。がん医療に携わる歯科医師の人材育成を目的にDVDによる講習会を行った。
受講者 27名
- 2月 5日 第11回臨時理事会を開催し、県職員OB採用について協議した。
- 2月 6日 四師会による在宅医療・介護推進ワーキンググループ会議を開催。各団体からの出席者が集まり四師会共同開催講演会ほかについて協議を行った。
出席者 仲田理事ほか1名
- 2月10日 茨城政経懇話会2月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 2月10日 へき地医療支援計画策定会議が県立中央病院にて開催され、平成27年度茨城県へき地医療支援計画ほかについて協議が行われた。
出席者 征矢専務
- 2月12日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 6
- 2月12日 第2回講師会を開催。卒業判定について協議を行った。
出席者 小鹿校長ほか16名
- 2月12日 第2回学校運営委員会を開催。平成27年度備品購入計画(案)、平成28年度入学生入試日程(案)、オープンキャンパス、体験入学日程(案)について協議を行った。
出席者 小鹿校長ほか9名
- 2月12日 第2回センター運営委員会を開催。平成27年度事業計画(案)、平成27年度備品購入計画(案)について協議を行った。
出席者 森永会長ほか11名
- 2月12日 県障害者施策推進協議会が県庁舎にて開催され、「新しいばらき障害者プラン」改訂版について協議を行った。
出席者 村居常務
- 2月13日 四師会事務長会議を開催し、四師会協働講演会について協議を行った。

- 出席者 鈴木事務局長
- 2月13日 労働保険事務組合事務担当者会議がホテルレイクビュー水戸にて開催され、労働保険加入促進業務ほかについて協議を行った。
- 出席者 須能
- 2月13日 県医療審議会、保健医療計画部会及び医療法人部会が県庁舎にて開催された。
- 出席者 森永会長
- 2月14日 都道府県医療管理担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、未就業歯科衛生士の復職支援ほかについて協議を行った。
- 出席者 大字常務
- 2月14日 歯科衛生士復職支援対策連絡協議会が日歯会館大会議室にて開催され、歯科衛生士の現状ほかについて協議が行われた。
- 出席者 大字常務
- 2月16日 県民健康づくり表彰式が県庁舎9階講堂にて開催された。
- 出席者 森永会長
- 2月16日 学校保健推進協議会が県医師会にて開催され、各関係機関から提出された事項についての協議、平成26年度学校保健関係事業の概要についての報告が行われた。
- 出席者 森永会長ほか2名
- 2月17日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 3
- 2月17日 内外情勢調査会2月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
- 出席者 森永会長
- 2月18日 県国民健康保険審査会が県庁舎にて開催され、国民健康保険法による基準収入額適用申請の却下処分に対する審査請求について審査を行った。
- 出席者 森永会長
- 2月18日 日学歯加盟団体長会が日歯会館にて開催され、平成27年度事業計画案の大綱ほかについて協議を行った。
- 出席者 長谷部日学歯代表会員
- 2月18日 県食育支援連絡会が県庁舎にて開催され、食育推進事業について協議が行われた。
- 出席者 藤田

平成26年度 茨城県学校保健・学校安全研究大会報告

学校歯科委員会 長谷部 和子

平成26年度 茨城県学校保健・学校安全研究大会が平成27年1月29日（木）茨城県立県民文化センターにおいて開催されました。この大会は、茨城県教育委員会・茨城県学校保健会・茨城県歯科医師会の主催で毎年1月下旬に行われています。

開会行事の後、平成26年度学校保健・学校安全関係表彰が行われました。以下に表彰内容を記載します。

※茨城県健康推進校

(1) 最優秀校（2校）

大子町立だいご小学校 鉾田市立大竹小学校

(2) 優秀校（9校）

ひたちなか市立磯崎小学校 那珂市立横堀小学校
 小美玉市立玉里小学校 高萩市立秋山小学校
 稲敷市立高田小学校 五霞町立五霞東小学校
 ひたちなか市立佐野中学校 日立市立滑川中学校
 坂東市立猿島中学校

※茨城県よい歯の学校

(1) 茨城県教育委員会教育長賞

小学校（11校）

水戸市立堀原小学校 小美玉市立羽鳥小学校
 城里町立常北小学校 鉾田市立上島東小学校
 つくば市立北条小学校 つくば市立小田小学校
 石岡市立石岡小学校 取手市立寺原小学校
 筑西市立関城西小学校 坂東市立七郷小学校
 桜川市立紫尾小学校

中学校（7校）

笠間市立福田中学校 城里町立常北中学校
 日立市立大久保中学校 北茨城市華川中学校

行方市立玉造中学校 守谷市立愛宕中学校
 五霞町立五霞中学校
 高等学校（2校）
 県立多賀高等学校 県立勝田工業高等学校
 特別支援学校（1校）
 県立勝田特別支援学校

(2) 茨城県歯科医師会長賞

小学校（5校）

日立市立中小路小学校 土浦市立上大津西小学校
 笠間市立福田小学校 高萩市立君田小学校
 石岡市立小桜小学校

中学校（2校）

つくば市立大穂中学校
 県立日立第一高等学校附属中学校
 高等学校（1校）
 県立下館第一高等学校
 特別支援学校（1校）
 県立水戸聾学校

※茨城県学校保健会長ほう賞

学校医（16名）、学校歯科医（16名）、学校薬剤師（4名）、学校長（10名）、教頭（1名）
 保健主事（2名）、養護教諭（16名）、栄養教諭・学校栄養職員（4名）

団体（1校）：境町立長田小学校

学校歯科医の場合は、おおむね55歳以上・学校歯科医歴25年以上が表彰対象となりますが、ことは例年より多くの先生がその荣誉に浴されました。おめでとうございます。

東 昌明 井上 仁 小野寺宣夫

齋藤祐一郎 高野 雅行 中村 洋子
 湊 隆夫 宮本 嘉博 阿部 信之
 上野美奈子 後藤 勉 志村 俊晴
 綱川 健一 船久保せいこ
 宮作千恵子 横須賀良次 (敬称略)

各学校の受賞は担当されております先生方のご尽力の賜物であり、今後とも学校保健・学校安全の推進にご協力をお願いいたします。

表彰の後は、平成25・26年度 日学歯「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」委託校の銚田市立大竹小学校の実践発表がありました。

研究主題：「より健康に生きるために、自ら気づき、考え、行動できる児童の育成～家庭や地域社会と連携した歯・口の健康づくりの実践を通して～」

内容については、26年度学校歯科保健研修会報告 (会報 9月号 P44) を参照ください。

つづいて、保健体育課からの行政説明がありました。県内の児童生徒の交通事故状況が説明され、小・中・高全体では前年度より事故発生件数は減少しているようですが、中学校では自転車乗用中の事故が増加しています。県としては、

(1) 事故防止のための反射材の着用 (2) 頭部保護による事故被害軽減のヘルメットの着用並びに正しい自転車の乗り方の指導 (スマホ禁、右側通行禁等を含め) (3) シートベルト、チャイルドシートの着用の徹底 を推進していくとのことでした。また、通学路の安全対策については、学校、道路管理者、警察と連携し、緊急合同点検を実施し、対策必要箇所について順次対策を実施しているとのことでした。また、今年度から小学校5年生に対して「通学安全リーダーハンドブック」を配布しました。交通事故や犯罪を未然に防止するために、子どもたちに交通安全や防犯に関する

知識や危険予測・回避能力を身に付けさせ、新年度からの下級生への指導に役立てるものです。27年度 文部科学省委託事業としては、(1) 地域との連携による学校の防災力強化推進事業 (2) 実践的防災教育総合支援事業 (3) 通学路安全推進事業 (4) がん教育総合支援事業を行っていくそうです。また、各学校配備にされているAEDの適切な管理を行っていただきたい旨が説明されました。

昼食をはさんで、13時から平成26年度 子供の心のケア対策研修会ということで、

(1) 行政説明：「学校における子どもの心のケア—サインを見逃さないために—」

文部科学省スポーツ・青年局学校健康教育課健康教育調査官 岩崎 信子先生

(2) 講演：「学校における子どもの心のケアの考え方とその対策」

京都大学大学院 教授 十一 元三先生

(3) 講義：「実践から学ぶ心のケア」

茨城大学大学院 准教授 (茨城県スクールカウンセラー) 金丸 隆太 先生

がありました。

折しも、この大会の2日ほどまえに名古屋大学の女子大学生が「人を殺してみたいとずっと思っていた」という殺害動機の殺人事件が発生、数日前には長崎で起きた高校生の同級生殺害事件の判決が出たという事もあり、参加者は、熱心に傾聴しておりました。

日常の健康観察が重要で、健康観察は朝や帰りの会だけではなく、登下校や授業中、休み時間、学校行事、部活動などあらゆる場面で観察することが大切で、保護者との連携も行われなければならない。災害や事件・事故の発生における子どものストレス症状の特徴を踏まえて健康観察をおこなうことが大切である。心の症状のみならず、腹痛や頭痛、眠れない、食欲不振などの身体症状にも注目する必要がある。

代表的な精神症状として、

- ①「意識障害」～精神活動の基盤に異変：意識の消失、錯乱・朦朧、ぼんやり
- ②「精神病症状」～現実を正常に認識できない、活力の異常
 - ：幻覚・妄想・気分の波（躁・うつ、知／情／意の亢進・低下）
- ③「パーソナリティ障害」～社会生活に必要なパーソナリティの安定を欠く
 - ：極度の対人的過敏・不安定、情熱と落ち込み
- ④「強迫・摂食障害・依存症」～習慣的行為を適度な範囲で調節できなくなる
 - ：こだわり・とらわれ・のめり込み
- ⑤「不安・恐怖症状」～生活場面に潜む不安・恐怖の対象やその引き金
 - ：パニック発作、対人恐怖、フラッシュバック
- ⑥「解離症状」～自我が心身を支配できなくなる
 - ：白昼夢、心因性の健忘・運動/感覚障害、多重人格

自然が持つリスク（地震・火山・河川）、児童が持つリスク（いじめによる傷害、窃盗、殺人、対教師暴力、自殺、転落事故）、大人が持つリスク（虐待、わいせつ、熱中症、自動車事故、不審者侵入）等による心のケアを要する事態が起こるリスクが無い学校はただの1校も無い。すでに心のケアを必要としている児童生徒はいるかもしれない。学校における心のケアは教職員の仕事である。心のケアは医療機関の仕事である。学校保健安全法によって、学校は児童生徒の安全を確保し、そのために関係機関と連携することが定めら

れている。と講義されました。

最後に県教育委員会から、県の事業として全中学校にスクールカウンセラーの配置、緊急スクールカウンセラー等の派遣事業（災害発生時）、生徒指導総合支援事業によるカウンセリングアドバイザーの派遣を行っていることが報告されました。また、「茨城県いじめ防止基本方針」が教育委員会HPより、「関係機関のためのマニュアル 虐待から子どもを守ろう」が県保健福祉部こども家庭課のHPよりダウンロードできるとのことです。

子どもを取り巻く社会環境の変化に伴い、学校では様々な課題が山積し対応に追われる教職員の方々のご苦勞は大変のものがあると痛感した大会並びに研修会でした。

参考文献

文部科学省：「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」

「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」

学校における子供の心のケア

— サインを見逃さないために —

平成26年3月

日本学校保健会：子供たちを児童虐待から守るために

— 養護教諭のための児童虐待対応マニュアル —

平成26年出版

文部科学省 平成26年度学校保健統計調査速報(歯科部分抜粋)

単位 (%)

区分	(男女合計)										(男)										(女)									
	歯・口腔					歯・口腔					歯・口腔					歯・口腔					歯・口腔					歯・口腔				
	むし歯(う歯)		歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	疾病の異常	むし歯(う歯)		歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	疾病の異常	むし歯(う歯)		歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	疾病の異常	むし歯(う歯)		歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	疾病の異常		
	完了者	未処置者						完了者	未処置者						完了者	未処置者						完了者	未処置者						完了者	未処置者
幼稚園	5歳	38.46	15.68	22.78	3.50	0.12	0.91	0.17	1.72	39.66	16.21	23.44	3.28	0.15	0.97	0.16	1.58	37.23	15.14	22.09	3.72	0.10	0.85	0.19	1.86					
小学校	計	52.54	26.23	26.30	4.29	0.10	3.12	1.96	6.84	54.23	26.84	27.38	4.00	0.09	3.59	2.25	6.81	50.76	25.59	25.17	4.59	0.11	2.62	1.66	6.87					
	6歳	47.34	19.03	28.31	2.62	0.05	1.34	0.66	5.80	48.48	19.35	29.13	2.24	0.05	1.34	0.64	5.61	46.14	18.70	27.45	3.03	0.05	1.33	0.68	6.01					
	7歳	54.36	25.26	29.11	3.84	0.06	2.46	1.28	5.34	55.74	25.78	29.96	3.52	0.05	2.64	1.31	5.28	52.93	24.71	28.21	4.17	0.08	2.28	1.24	5.40					
	8歳	59.19	29.68	29.52	4.82	0.10	3.54	1.93	5.48	60.06	29.74	30.32	4.58	0.11	3.95	2.10	5.29	58.28	29.61	28.67	5.07	0.09	3.12	1.76	5.69					
	9歳	59.84	31.58	28.26	4.65	0.11	3.48	2.16	7.65	62.07	32.30	29.77	4.41	0.10	4.10	2.52	7.24	57.51	30.83	26.68	4.91	0.12	2.83	1.79	8.08					
小学校	10歳	52.57	28.36	24.21	4.78	0.12	3.95	2.74	8.82	55.29	29.57	25.72	4.55	0.10	4.73	3.27	8.89	49.71	27.08	22.63	5.03	0.13	3.13	2.19	8.76					
	11歳	42.52	23.61	18.91	4.98	0.14	3.88	2.92	7.80	44.30	24.43	19.87	4.70	0.11	4.70	3.53	8.39	40.66	22.75	17.91	5.28	0.17	3.03	2.27	7.18					
	計	42.37	23.83	18.54	5.09	0.36	5.21	4.61	3.55	40.92	22.38	18.54	4.88	0.30	6.41	5.56	3.93	43.90	25.35	18.55	5.30	0.42	3.95	3.62	3.16					
中学校	12歳	39.65	22.59	17.06	5.07	0.31	4.59	3.84	5.16	38.63	21.54	17.09	4.93	0.29	5.69	4.66	5.73	40.72	23.70	17.03	5.22	0.32	3.44	2.98	4.56					
	13歳	41.61	23.30	18.31	5.03	0.35	5.51	4.91	3.30	39.89	21.82	18.06	4.83	0.29	6.67	5.80	3.64	43.42	24.85	18.57	5.24	0.41	4.29	3.97	2.94					
	14歳	45.82	25.57	20.24	5.16	0.42	5.51	5.09	2.23	44.20	23.76	20.44	4.90	0.33	6.86	6.21	2.45	47.51	27.47	20.04	5.44	0.52	4.10	3.91	1.99					
	計	53.08	30.45	22.63	3.95	0.46	4.88	4.44	0.89	51.05	28.11	22.94	3.56	0.38	5.65	5.29	0.91	55.14	32.82	22.32	4.35	0.55	4.10	3.57	0.86					
高等学校	15歳	48.42	27.97	20.46	3.91	0.42	4.58	4.02	0.99	46.49	25.84	20.65	3.45	0.34	5.27	4.75	1.01	50.40	30.14	20.26	4.38	0.51	3.87	3.28	0.97					
	16歳	53.47	30.71	22.76	3.99	0.47	5.08	4.66	0.86	51.50	28.44	23.06	3.65	0.39	5.89	5.58	0.84	55.47	33.01	22.46	4.33	0.54	4.27	3.74	0.88					
	17歳	57.61	32.81	24.81	3.96	0.50	5.00	4.64	0.81	55.46	30.19	25.27	3.58	0.40	5.81	5.57	0.88	59.80	35.46	24.34	4.33	0.60	4.18	3.71	0.74					
区分	計	永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数					永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数					永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数					永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数					永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数								
	計	1.00	1.00	0.02	0.02	0.99	0.64	0.35	0.92	0.92	0.92	0.92	0.02	0.02	0.90	0.57	0.33	1.09	1.09	0.02	0.02	1.07	0.70	0.37	0.70	0.37				
12歳	1.00	1.00	0.02	0.02	0.99	0.64	0.35	0.92	0.92	0.92	0.92	0.02	0.02	0.90	0.57	0.33	1.09	1.09	0.02	0.02	1.07	0.70	0.37	0.70	0.37					

※このデータは、日学歯ホームページ 歯・口の資料室よりダウンロードされています。

障害者歯科認定歯科衛生士研修会に参加して

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

鈴木 哉絵、関口 浩、村居 幸夫
征矢 亘、鈴木 和男

昨年、11月に仙台国際センターで行われた日本障害者歯科学会に参加し、そこで行われた障害者歯科認定歯科衛生士研修会「集まれ！歯科衛生士—こんな症例にどう対応する!？」に参加してきました。

テーマが2つあり、テーマ1が「自閉症児に対する口腔衛生指導」、テーマ2が「ダウン症児に対する摂食機能療法」についてでした。私は、「ダウン症児に対する摂食機能療法」について1グループ10人のグループワークに参加してきました。

症例の内容は、「年齢5歳児ダウン症候群」、薬を服用しており主訴は、粒が混じると食べる事を拒否してしまい、固形食の形態が上がらず今度小学校に入学するため食べる事が遅れている事が不安との事で来院した患者さんについてです。口腔内状態は、上下乳歯が生えそろっており、普段から口唇がめくれて、舌も出ています。言葉の理解はでき、簡単な動作の模倣もできます。兄弟は6ヶ月の弟がいます。現在食べているものは初期食で1日1300カロリー摂取しており、おやつに赤ちゃんせんべいを食べています。水分はコップから啜っており1日1リットルは摂っています。という内容が詳しく書いてある症例の文章が配られグループワークが開始されました。

今回グループワークをするにあたり歯科衛生プロセス（歯科衛生過程）の方式に従い行いました。症例に対しアセスメントから始まり歯科衛生

診断、計画立案、実施、評価を繰り返し行っていく方法です。今回は、アセスメントをし、患者さんの情報についてS情報（患者さんから訴えがあった主観的情報）、O情報（医療者側からみた客観的情報）を主訴・全身状態・口腔状態・外部観察・栄養・口腔清掃の項目別に分けて、そこから得られた情報について分析した事をまとめ歯科衛生診断をし、問題の改善程度を決めて、問題を解決する為の歯科衛生介入をどうしていくかを定める所まで行いました。まず、アセスメントですが、多くの情報を1つ1つS情報O情報に分けていくのですが状況によっては、紹介状をいただいた場合は、S情報にもなる事もO情報に入る事もあるなど、分けていくうちにだんだん考えをまとめるのが難しくなってきました。しかし、アセスメントの時点でしっかりまとめる事が重要になってくる事を学びました。次の歯科衛生診断や改善程度、歯科衛生士介入を考えていくためのすべての情報となるからです。確かに行ってみるとアセスメントの時点ではなかなか考えがまとまらず戸惑いましたが、次の改善程度や歯科衛生介入では衛生士さん方が次々と意見を出しスムーズに進めていく事ができました。

しかし、この過程を進めるにあたり実際は自分で情報を収集してから開始する事であるため、今回は患者さんの情報を文章でいただき、情報をわけることができましたが、一番歯科衛生士さん方が苦戦していることが、情報収集の少ない事だそ

うです。臨床の場では、時間に限りがあることが現状であるとみなさんお話をしていました。そこで工夫をし、患者さんからの情報をどれだけ得られるかも、歯科衛生士として大切なことだと実感しました。

同じ障害の症例でも、その対応は歯科衛生士1人1人違い、さまざまな対応法や考え方について聞く事ができました。そのことを私も患者さんの対応へつなげられることもありました。今回、障

害者歯科認定歯科衛生士を取得して初めての参加だったため、認定を取得した衛生士さんの普段の活躍や私も診療の中でどう活用していけばよいのかを考えることができました。歯科衛生ケアプロセスの考えについて、今後患者さんを支援していく歯科衛生士としてとても魅力を感じたため、もう少し勉強をしつつ診療の中で取り組んでいきたいと思います。



アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

火災保険

所得保償保険

小規模企業共済制度

自動車保険

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永和男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826



独立行政法人福祉医療機構貸付利率より医療貸付事業の貸付利率の改定について、次のとおり通知がありましたので、お知らせいたします。

福祉医療機構（医療貸付）貸付利率表

固定金利

平成 27 年 2 月 12 日 改定

施設の種類	資金の種類		利 率	
			新	旧
病 院 診療所	新築資金		年 0.70%	年 0.60%
	増改築資金	甲種		
		乙種	年 1.20%	年 1.10%
	機械購入資金		年 0.90%	年 0.90%
長期運転資金				

10年経過後金利見直し（当初10年）

平成 27 年 2 月 12 日 改定

施設の種類	資金の種類		利 率	
			新	旧
病 院 診療所	新築資金		年 0.40%	年 0.30%
	増改築資金	甲種		
		乙種	年 0.90%	年 0.80%

※詳細につきましては、独立行政法人福祉医療機構ホームページ・金利情報ページ

(<http://hp.wam.go.jp/kinri/tabid/67/Default.aspx>) に掲載されておりますので、併せてご利用願います。

茨城新聞 2月18日(水) 掲載

歯科コラム Dental column

Vol. **20**

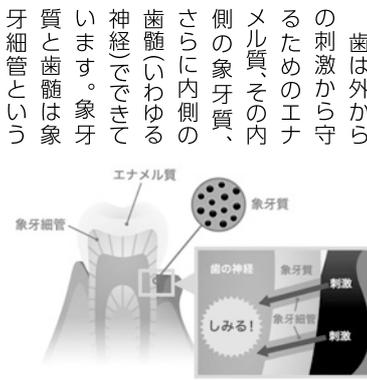
公益社団法人茨城県歯科医師会 広報委員会

小松栄一 小野道範

知覚過敏

「**どなたの時に起きるのか、その原因は?**」
1、**歯肉の退縮** 加齢や歯周病の進行、間違った歯磨きなどで歯肉が下がってくると、歯根部分にはもともとエナメル質が無いので、象牙質が露出し痛みを生じます。

2、**歯が割れる** 硬いものを食べたり歯軋りや食い縛りなど歯に強い力がかかることで、歯の表面が微小に割れたり欠



歯は外からの刺激から守るためのエナメル質、その内側の象牙質、さらに内側の歯髄(いわゆる神経)までできています。象牙質と歯髄は象牙細管という無数にある細い管で繋がっているため、象牙質に機械的刺激や、冷熱刺激が加わると、その刺激は内部の歯髄に伝達され痛みを感じます。つまり、象牙質は痛みを感じます。何らかの原因でエナメル質が無くなつて象牙細管が露出し、そこに刺激が加わった時に「知覚過敏」がおこります。

3、**歯の磨耗、咬耗** 加齢により磨り減ってエナメル質が無くなったり、歯磨きの力が強かったり、歯磨き粉の研磨剤で歯を削ったりした場合に象牙質が露出し症状が出ます。

4、**酸によって歯が溶ける** 酸性の食品を長期に習慣的に摂取した場合などにエナメル質が溶かされて象牙質が露出し、更に象牙質が酸で溶かされて症状が出ます。

5、**歯科治療の後** 歯周病の治療で歯石を取った後、ホワイトニング治療の後などに一時的に知覚過敏様の症状が出ることもあります。

「**その治療法は?**」
軽度の場合は、正しい歯磨きを行うことです。歯垢をしっかりと除去することで歯の再石灰化が起こり象牙細管の封鎖が期待できます。しかし、あまり強い歯磨きでは、歯肉が退縮したり、歯根を削ってしまうので注意しましょう。中程度の場合は、歯科医院で専用の薬剤を塗布したり、歯と同じ色の詰め物をして刺激を遮断します。重度で痛みが取れないときは、歯の神経を取る治療が必要な場合もあります。

●次回掲載予定 5月18日(月)

 公益社団法人 **茨城県歯科医師会**
Ibaraki Dental Association

<http://www.ibasikai.or.jp/>
茨城県歯科医師会 検索

 ご意見、ご質問をメールにてお寄せください。
opinion@ibasikai.or.jp



地区歯科医師会会報が無事校了した。年1回毎年この時期に発行するようになった20ページ余りの小冊子。毎月発行の茨歯会報とは比べるべくもないが、一つの区切りとしてほっとする。本来なら4月まで広報誌業務から逃れる充電期間が欲しいのだが、現実とは逆で、来年度の編集に向けての作業が始まっている。すでに地区新年会の原稿は完成して出版社に送信済み。今は今月、来月に予定される講習会の原稿依頼を行う時期となった。しかし、以前のような紙媒体ではなく、現在では電子媒体利用の為、非常に会務が楽である。また、1年前より使用し始めたドロップボックス（ファイル共有ソフト）が非常に便利。原稿、写真を始めとするデータを委員会全員で共有できる。PCでもスマートフォンでも場所を問わずアクセスでき、使い方も簡単である。個人で使用している先生方も多いのではあるまいか。

3か月に1度は回ってくるこの赤えんぴつ。何を書いても良いと言われながらも毎回テーマに悩む。悩んでいるところに飛び込んできた記事が、歯科医師連盟の石井議員に対する5千万円迂回寄付。現在、イスラム国の暴挙に注目が集まっているせいで追従記事は少なかったが、数日後西村議員に対しても同様な迂回寄付記事が発表された。日歯会長予備選挙の真ただ中、一般会員の枠の外でも言われぬ水面下の戦いが繰り広げられているのだろうか。

(hiro)

先日、職場旅行で浅草、スカイツリーに行って

きました。バス一台貸し切り、ガイドさん付きで昔の遠足気分でした。

朝で高速も空いていたせいか、浅草に予定時間より早く着き、浅草寺を散策しました。浅草寺は外国の方々も多く、特に中国の方が多かったです。浅草寺でお参りをし、おみやげ屋さんも外国の方向けが多く、見ているだけで楽しかったです。

また焼き立ての人形焼や手焼き煎餅、おだんご、おいしかったです。

浅草寺の後、スカイツリーに行きました。スカイツリーからの眺めは、やはり高いだけにすごかったです。お天気がよければ富士山も見えたりするみたいですが、あいにくお天気が悪く遠くは見えませんでした。

ただ周囲の東京ドーム、アサヒビールのオブジェ、東京タワーはよく見えました。景色を堪能した後はソラマチで限定お菓子をお買い物しました。

いろいろ観光した後、ご飯の時間になり浅草ビューホテルにてランチビュッフェでした。1時間半みっちり頂き、お腹がかなりいっぱいになりました。

昼食後、浅草からお台場まで海上クルーズをしました。カメムシみたいな船でしたが、本当の名前はヒミコと言う未来型みたいな船でした。

船は快適で揺れもなく、あっという間の40分クルーズでした。

クルーズ後、またバスで帰ってきました。最初はおのぼりさんみたいで恥ずかしいと思いましたが、たまにはバスでガイドさんにいろいろ説明してもらいたいかなと思いましたが、また職場の方達とともに違う一面を見られて、更に親睦を深

められました。

いろいろ充実した時間を過ごせたお休みでした。

(maru)

1月号に引き続き登場となってしまいました。前回お伝えできなかった「ゴジラ展」について無理やり報告します。チケットを買って入場したと



ゴジラの尻尾

ころに、いきなり尻尾です。大きくてインパクトありました。順路に従い進んできます。写真撮影可のブースと不可のブースがありました。ミニチュアと人形達で様々な名場面が形作られています。気がつけば、写真撮りまくってしまいました。



キングギドラとバラゴン



ゴジラ対モスラ

展示場を抜けると、大きなホールにパイプ椅子が並んでいます。壁には多くの映像が映し出されていました。白黒からカラーまで、そうです簡単な映画上映会になっているんです。椅子を移動すると好きなゴジラ映画が見られるという、一日中居座ってられる豪華な？特典です。しかし限られた時間でいろいろ回らないといけない強行軍としては、いつまでも見てはもらえず、後ろ髪をひかれる思いでホールを後にします。

次のホールはというと、そうです、お約束の最後の関所であるグッズコーナーです。限定品が目白押しです。まだまだ先は長いので、余力を残しておかないと厳しいところです。リアル造形ものとかわいい造形もの、DVDにブルーレイ、キャップ・タオル・シャツ等の衣料品関係、さすがに着ぐるみは売っていませんでしたが。しめてどのくらい買ったかはご想像にお任せします。お父さんは、両手にたくさんの荷物を抱えて会場を後にしましたとき。めでたしめでたし。

ハリウッド版GODZILLAが2月に入ってレンタル開始になった。渡辺謙が出演しているアレである。2014年映画公開時は大ヒットを記録したとのことで、続編もありそうな感じである。メカゴジラ（三式機龍）や合体モゲラ、轟天号等のメカニックがどうなって使われるのか、モスラやキングギドラがどうアレンジされるのか、興味は尽きないところである。願わくば、変な怪獣・変なメカ・変なアレンジを付け足して、困ったことにならないことを祈ろう。

(くすくすくす)

みんなの写真館

Photo Gallery



神戸に向かう途中、機内にて撮影した富士山



風見鶏の館（神戸異人館街）



北野天満神社（神戸異人館街）



宝塚大劇場



帰りは大阪国際空港（伊丹空港）から

(社) 茨城県南歯科医師会 富田 浩之

会員数

平成27年1月31日現在

支 部	会員数 (前月比)
日 立	121
珂 北	139 -1
水 戸	160
東西茨城	74 +1
鹿 行	103
土浦石岡	172 -1
つくば	119
県 南	180
県 西	157 +1
西 南	106
準 会 員	1
計	1,332 ±0

みんなの写真館写真募集 !!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,146名
 2種会員 50名
 終身会員 135名
 準会員 1名
 合計 1,332名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 27 年 2 月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。